

トルコ 春の大雨でザクロの出荷量が減少

FreshPlaza 2023年10月19日

トルコの果実輸出業者アクスン社のマネージングパートナーであるエスラ・ソイレン氏は、昨年はザクロ不足に対処したが、今年の収穫についても同様の状況に直面しているようだと、「今シーズン、一部の地域では、昨年と同じように最大30%のザクロ不足が見られる。4月の開花期に雨が多く、1回目と2回目の開花がこの雨の影響を受けた。アンタルヤ県はその代表的な例である。また、同県はトルコ最大の産地であるため、これらの問題はザクロの入手のしやすさと価格の両方に影響を及ぼした」と説明する。(以下「」は同氏の発言)

まだシーズンの始めの時期であるが、今年はこの時期としてはすでに需要が通常よりも高いと同氏は言う。「現在、市場ではザクロがかなり不足している。これは、出荷シーズンのこの早い時期に非常に高い需要があることを意味する。大抵の場合、トルコ産のザクロはスペイン産が少し減速する時期に市場に出回る。それは通常12月中旬頃である。しかし、今年にはザクロの出荷シーズンが始まって以来、すべての取引先に定期的に配送している。」

トルコの経済的要因により、今年のザクロの価格は上昇した。同氏は、すべてのコストの増加を考えると、この増加は避けがたいと強調する。「今シーズン、ザクロの価格は確かに高くなっている。ただし、この増加を説明する理由はいくつかある。まず、我々はより高い生産コストに対処している。その上、トルコでは、インフレ率が100%を超えている。これは、人件費、国内輸送費、燃料費等すべてのコストが2倍以上になったことを意味する。これは、購入者としての話である。輸出業者としては、ザクロを自社の施設に保管する必要があり、果実を保管する袋の価格と電気代もインフレにより2倍以上になった。これらを念頭に置いておくと、ザクロの価格が高いことは非常に理にかなっている。」

ヒジャズ(Hicaz)品種はトルコで栽培されている主要品種である。売れ行きが好調で、ソイレン氏は今年に興味深いザクロの出荷シーズンを期待している。「トルコの主な品種はヒジャズで、酸味、糖度、味の組み合わせが大変良い。我々輸出業者は、この伝統的な品種を維持していることを非常に喜んでおり、生産者も同様である。ワンダフル品種や早い時期のワンダフル品種の出荷もあるが、市場シェアの95%は、最も売れているヒジャズ品種だと思う。今シーズンの見通しとしては、高い需要とより高い価格によって興味深いものになるはずだ。」

アクスン社は選果と貯蔵の両方で業務を改善するため、多額の投資を行っていると言っている。ソイレン氏は言う。「弊社では、新しい投資として2本目のザクロ用梱包ラインを設置したところである。これはザクロの規格を揃える上で大いに役立つ。弊社は、同じ品質基準で、シーズンを通して1つの特定のサイズを取引先に提供することができ、これが弊社の強みであると思う。弊社のもう一つの大きな強みは、新しいザクロ用冷蔵室への投資である。現在、弊社では自社の梱包施設に最大7千トンを保管することができ、他の多くの業者とは異なり、商品を保管するために他社を必要としない。これは、最初から最後まで完全なトレーサビリティと管理を意味する。」

執筆者: ニック・ピーターズ